

契約監視委員会議事要旨

1. 日時

令和 元年 6月14日(金) 10:00~12:00

2. 場所

独立行政法人 航空大学校 第二応接室

3. 出席委員

(委員長) 辻 利 則	(宮崎公立大学教授)
濱 田 諭	(弁護士)
清 家 秀 夫	(公認会計士・税理士)
時 任 勝 正	((独)航空大学校 監事)
本木下 愛子	((独)航空大学校 監事)

4. 議題

平成30年度契約の点検
(件名は別添のとおり)

平成30年度調達等合理化計画の取組実績及び取組に対する自己評価について

令和元年度調達等合理化計画について

一者応札の改善に係る複数年度契約の導入について

5. 議事内容

主な意見質問は以下のとおり

○平成30年度契約の点検について

- ・平成30年度 本校航空機保守（A36）について

質問) 改善項目にある仕様書等の見直しについて、仕様書の修正を行ったとあるが、どのような修正か。同じく改善項目にある調達予定情報の事前公表について、直近の2ヵ年とは平成28、29年度の事か。

回答) 仕様書の修正については、平成29年度の仕様書に記載していた文言を平成30年度の仕様書において、より分かりやすい文言に修正したもの。事前公表にある直近2ヵ年はご指摘のとおり。

○平成30年度調達等合理化計画の取組実績及び取組に対する自己評価について

質問) 一者応札の改善に係る取組実績についてA評価で問題ないと考えているが、2度入札不調になった案件について、結果を踏まえ工期を想定より長く設定し応札者を増やしたとあるが、次年度以降、最初から履行期間に幅を持たせることは現時点でどう考えているか。

回答) 当案件については、施設整備費補助金を財源とした工事であるため、1、2回目の不調不落の結果を受け、翌年度に工事を繰り越すことの大臣承認を得たうえで工期を長く取ることができた事情もあるが、その他契約についても予算の早期執行体制を整えたうえで、履行期間を長く取れるような手法を検討したい。

○令和元年度独立行政法人航空大学校調達等合理化計画について

- ・一者応札の改善に係る複数年度契約の導入について

意見) 複数年度契約を導入すること自体は賛成。ただし、デメリットについて過去の経験から言わせると、契約期間が長期に及ぶ場合、契約相手方が破綻した際のリスクも評価しなければならない。また、例えば契約期間を5年とした場合、人事異動で担当者が2、3年で変わることが多く、細かいところの引継ぎが大変で議論になったことがある。

意見) まずは2年ないし3年で実際にやって、やりながら検証し、想定していなかったデメリットが生じた場合や想定したよりもメリットが不安定であった場合にそれをどうケアするかが大事。想定されるデメリットもある程度ケアできると認識しているので複数年度契約には賛成である。

【審議結果】

平成30年度契約について、適正な事務手続きが行われていることを確認した。また、平成30年度調達等合理化計画の取組を着実に実施したことを確認した。

複数年度契約の実施について賛同する。メリット、デメリットについて意見が出たが、まずは2年ないし3年でやってみて出てきた課題を修正できるように努めて頂きたい。令和元年度の調達等合理化計画も着実に実施して頂きたい。

平成30年度 契約の点検

(1) 3ヵ年連続した一者応札案件 (10件)

本校航空機保守 (A36)

帯広分校航空機保守

仙台分校航空機保守

平成30年度 会計システム運用支援業務

平成30年度 航空ガソリン青森空港機上渡しの購入

平成30年度 航空ガソリン新潟空港機上渡しの購入

平成30年度 航空ガソリン花巻空港機上渡しの購入

平成30年度 スピン訓練委託

平成31年度 航空大学校入学第二次試験身体検査

帯広分校除雪作業

(2) 新規随意契約案件 (0件)

該当案件無し